

第2回人道の港敦賀ムゼウム機能拡充検討部会 議事要旨

- 現在の施設では、機能・人材ともに不足し、活動に限界を感じる。
- 総意として、団体対応ができる十分な広さを持った新施設の整備を求める。
- 来館者数と開館時間には相関関係がある。
- 場所柄、トイレ利用や休憩利用の潜在需要は多い。
- ムゼウムの機能を特化するなら、他の施設も含めて役割分担していく。
- インバウンドの受入体制を整える。
- ボランティア活動の拠点となるように。
- 学芸員を配置し、専門的知見で活動できるように。
- 杉原千畝ゆかりの自治体ネットワークで、活動が日本全体へ広がるように。
- 運営評議会の設置等、開館後も関係者が継続的に関与できるように。

第2回鉄道遺産等保存活用検討部会 議事要旨

- 中心市街地全体のグランドデザインを描く必要がある。
- 敦賀は鉄道と港の街であることをアピールする。
- 敦賀市だけで考えず、広域で連携していく。
- ターゲットは明確にして、何を望んでいるのかをよく考える。
- 転車台の活用は、車両展示（動態展示）の可能性を探る。
- 敦賀港線は用地を買い上げて路線全体で活用できるようにする。
- 復元4棟は面積的に小さいので、全ての機能は入りきらない。